

# 知高総探ニュース

令和3年5月19日 第1号  
愛知県立知立高等学校 3年生

知立高校3年生の総合的な探究の時間では、NPO法人「かきつ畑<sup>ばた</sup>」の職員の方の協力のもと、「ローゼル」(熱帯地方原産の植物。花や果実が食用になる)を知立に広め特産にすることを目指して、活動をスタートしました。

4月14日の総合探究の時間では、「かきつ畑」の職員の方からローゼルについての講話がありました。ローゼルを通して農について考え、他にやりたいことの糧としてほしいことや、高校生の持っている行動力、柔軟な発想力を生かして、ローゼルを知立の特産にしてほしいとのことでした。

4月28日には各教室で、健康ライフ系列のフードを選択している生徒から、ローゼルについての紹介や、授業で考えたローゼルを使ったメニューが小中学校の給食で出されることなどの説明がありました。

初めはローゼルの知らない生徒が多くいましたが、講話や生徒の説明を聞いて、多くの生徒がローゼルがどのようなものなのか理解を深めることができました。そして、知立でローゼルを広める方法について多くの考えを出し合いました。

## ・「かきつ畑」の方の講話



5月12日の総合探究の時間では、系列関係なく「ローゼルの研究」「小中学校へのPR活動」「記録・発信」「商品開発」の4つの分野に分かれ、知立の特産にするために今後の方向性や内容などを話し合いました。この中の「小中学校へのPR活動」のグループが、市内の小中学校や「かきつ畑」の畑で苗植えをしました。はじめに本校で、「かきつ畑」の職員の方に苗の植え方や注意点などを教えていただき、市内の小中学校と畑へ苗植えをしてきました。植えた苗の数は少ないですが、1つ1つ丁寧に心を込めて植えてきました。

今後はローゼルの成長を見届けながら、それぞれの分野での活動が増えていくかと思います。この活動報告についても生徒が発行していく予定です。

・八ツ田小学校



・知立南小学校



・知立東小学校



・知立小学校



・知立西小学校



・竜北中学校



・知立南中学校



・「かきつ畑」の畑

